

### 法人の理念

キリスト教の愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護り、その人格の尊厳を尊重します。

### 《今月のねらい》 <テーマ> のびのびと

#### ぶどうぐみ

①遊びや生活中で、友だちや保育者との触れ合いを楽しむ。

②夏の疲れに留意し、休息をとりながら健康に過ごす。

#### はとぐみ

①保育者や友だちと一緒に体を動かして遊ぶ。

②簡単な身の回りのことを自分でやってみようとする。

#### ひつじぐみ

①保育士や友だちと一緒に十分に体を動かし、戸外遊びを楽しむ。

②夏の疲れを癒し、生活リズムを整えて心身ともに安定し過ごす。

#### ゆりぐみ

①友だちや保育者と一緒に、戸外でからだを動かすことを探しめる。

②身近な自然に興味を持ち、夏から秋への季節の移り変わりを感じる。

#### ばらぐみ

①友だちと一緒にいろいろな活動に興味を持ち、意欲的に取り組む。

②夏から秋の自然の変化に気付き興味・関心を持つ。

#### ほしぐみ

①友だちと共に共通の目的を持ち、協力しながら活動に取り組み最後までやり遂げた達成感や充実感を味わう。

②季節の移り変わりに気付き、関心を持ち遊びに取り入れて楽しむ。

### 9月9日は 救急の日

### 子どもの事故防止のために ～日頃から心がけたいこと～

9月9日は救急の日です。元気いっぱいに活動する子どもたちですが、さまざまな事故にあう恐れがあります。家庭内などで起こる事故を中心に、事例と対策について知り、予防に努めましょう。

#### 誤飲・誤えん・窒息

子どもの死亡原因で各年齢の上位を占めているのは「不慮の事故」です。不慮の事故の中で「窒息」は0歳が89.9%、1~4歳では35.1%、5~9歳では17.6%を占めています。

#### 事例 タバコの誤飲

胸ポケットに閉封済みのタバコを入れたまま寝起きをして、その間に子どもがそこからタバコをとって少しばかじってしまった(0歳)。

#### 事例 あめの誤えん

あめを食べたまま走り出して飲み込んでしまった。息ができないなくなってしまった。背中を叩いて、あめを出した(4歳)。

#### 事例 フードによる窒息

滑り台を滑ろうとしたら、後ろの子にパークーのフードを引っ張られてしまい、首が絞まりそうになった(5歳)。

#### 気をつけたいポイント

#### 誤飲

■タバコ、ボタン電池、医薬品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置きます。

■医薬品などは、子どもの見ているところで飲まないようにします。

■乾燥剤なども間違って食べることがあるので、処分します。

#### 誤えん

■ミニトマトやぶどうなど、丸く切つした食品は、小さく切って貰わせるようにします。

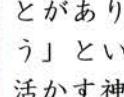
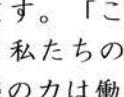
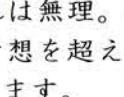
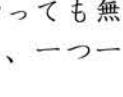
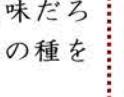
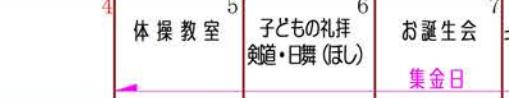
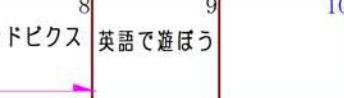
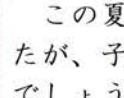
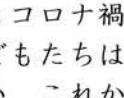
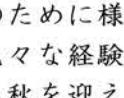
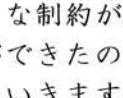
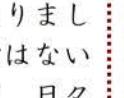
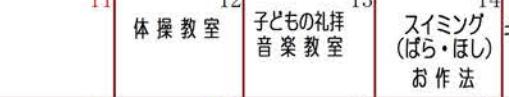
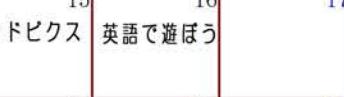
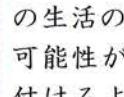
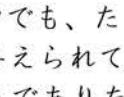
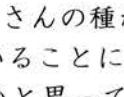
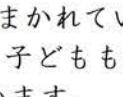
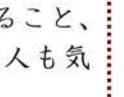
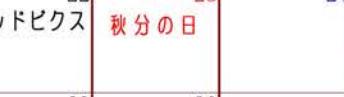
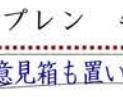
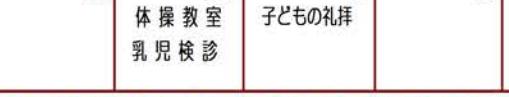
■フードやひもなどがついでない洋服にします。子どもの事故の発生を受けて、JIS規格の制定が行われています。

■シールやボリ袋などがのどに詰まったり、袋をかぶったりして窒息することがあるので、子どもの手の届かないところに置きます。

#### 窒息

■ふくらはぎや足の指など、丸く切つした食品は、小さく切って貰わせるようにします。

■シールやボリ袋などがのどに詰まったり、袋をかぶったりして窒息することがあるので、子どもの手の届かないところに置きます。

日	月	火	水	木	金	土
1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 
8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 
15 	16 	17 	18 	19 	20 	21 
22 	23 	24 	25 	26 	27 	28 
29 	30 					

### 9月の行事・特別プログラム



2022年9月

# 園だより

旭丘まぶね保育園  
電話 976-1912  
976-0001  
FAX 975-3636  
E-mail:asahi-hoikuen@koinonia.or.jp  
http://www.mabune.com/index.html



### 【今月の聖書の言葉】

「あるものは100倍になった」  
(マルコによる福音書 4章8節)

「すべての子どもは天才です」という言葉を聞いたことがあります。赤ちゃんは真っ白な状態で、周囲におこる物事をどんどん自分の中に取り込んでいきます。子どもは何にでも関心を抱き、ある意味で何でもできる、可能性の塊です。子どもたちに「やってみたいこと」や「将来の夢」を聞くと、数え切れないほど答えてくれたり、また日替わりで答えてくれたりするのも、そのせいでしょう。

今回の言葉「あるものは100倍になった」は、良い地にまかれた一粒の種が芽生え育って、実を結ぶとその数は30倍、60倍、100倍になったというたとえ話です。私たちがいつも頂いているお米もそうですが、一粒の小さな種から、たくさんの実ができる生命の不思議です。さらにこの言葉は、気前のいい農夫によって、惜しみなく様々な場所に種がまかれるというお話の中に登場します。私たちも普段の生活の中で、道路のコンクリートのひび割れの中など、びっくりするような所に花が咲いているのを見つけることがあります。「これは無理。やっても無意味だろう」という私たちの予想を超えて、一つ一つの種を活かす神様の力は働きます。

この夏もコロナ禍のために様々な制約がありました。子どもたちは色々な経験ができたのではないでしょか。これから秋を迎えていきますが、日々の生活の中でも、たくさんの種がまかれていること、可能性が与えられていることに、子どもも大人も気付けるようでありたいと思っています。

(チャプレン 牛田 匡)

### 苦情解決委員会

苦情受付担当者 柳内 美帆子 入江 あゆみ  
苦情解決責任者 有薗 律子  
第三者委員 申英子 畠 健次郎

意見箱も置いています